

平成29年度

決算報告

平成29年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

昨年度は、一般会計約39億円、特別会計約28億円、水道事業会計約4億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約71億円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は、41億9,819万円で前年度に比べて2億439万円、4.6%の減少となりました。

減額になった主な要因は、補助金や交付金を受けて実施した事業が終了したことにより国庫補助金が1億2,796万円、広域静苑組合の周辺道路整備に対する負担金が減少したことにより分担金及び

一般会計歳出

歳出決算総額は、38億6,905万円で、前年度に比べて2億2,212万円、5.4%の減少となりました。

これは、教育費で越生中学校ランクルーム耐震補強及び大規模改修が終了したこと、土木費で広域静苑組合周辺道路の工事費が減少したことなどによるものです。

目的別の主な事業

総務費では、越生駅東口開設に向けて、東西自由通路および駅施設の改修事業に伴う詳細設計などを実施しました。運転免許証の自主返納促進や高齢者の交通手段の確保などを目的として、地域交通対策事業を開始しました。

安心、安全なまちづくりを進めるため、防犯対策や交通安全対策を行いました。

民生費では、第6期越生町障がい者計画を策定したほか、障がい者等の自立と社会参加の促進を図る取り組みを進めました。

子育て支援策として、こどもの医療費支給事業、ベビーベッド貸出事業、誕生祝い品支給事業などを行いました。

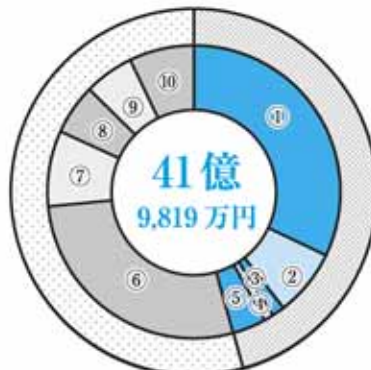
衛生費では、保健センター内に越生町子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から子育て期までの支援体制を構築しました。

健康づくりの一環として、健康長寿講座の開催や健康づく

歳出



歳入



	決算額	構成比	1人あたり
① 民生費	13億472万円	33.7%	111,258円
② 総務費	5億7,859万円	14.9%	49,338円
③ 土木費	4億2,155万円	10.9%	35,947円
④ 衛生費	3億3,218万円	8.6%	28,326円
⑤ 教育費	3億1,091万円	8.0%	26,512円
⑥ 消防費	2億7,695万円	7.2%	23,616円
⑦ 公債費	2億4,095万円	6.2%	20,547円
⑧ 農林水産業費	1億3,103万円	3.4%	11,173円
⑨ その他	2億7,217万円	7.1%	23,209円
合 計	38億6,905万円	100.0%	329,926円

	決算額	構成比	
① 町税	13億4,612万円	32.1%	自主財源 19億1,700万円 (45.7%)
② 繰越金	3億1,141万円	7.4%	
③ 分担金・負担金	5,887万円	1.4%	
④ 使用料・手数料	4,512万円	1.1%	
⑤ その他	1億5,548万円	3.7%	依存財源 22億8,119万円 (54.3%)
⑥ 地方交付税	11億6,789万円	27.8%	
⑦ 国庫支出金	3億5,066万円	8.3%	
⑧ 町債	2億3,350万円	5.6%	
⑨ 県支出金	2億3,002万円	5.5%	
⑩ その他	2億9,912万円	7.1%	
合 計	41億9,819万円	100.0%	

当日参加も可能です

平成29年度決算の報告と意見交換会を開催します

町では、町の財政状況の透明化を図るため、「平成29年度決算の報告と意見交換会」を開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。

日時 10月23日(火)

午後6時30分～8時

場所 中央公民館集会室

申込み 10月19日(金)までに☎へ申込み(当日参加も可)

☎企画財政課 管財担当

☎内線226

くりマイレージ事業などを実施しました。

町営樹木葬墓苑整備のため、用地測量等を行いました。

農林水産業費では、梅・ゆずなどの特産品を周知し、地産地消を推進しました。また、国の交付金を活用して、越生自然休養村センターの改修を行いました。

商工費では、月例ハイキング大会を開催したほか、五大尊花木公園案内看板の修繕、健康寺内にトイレの新設など、ハイキングのまちづくりを進めました。

商工業の振興のため、商工会事業に対して補助金を交付

しました。

土木費では、町道2、34号線や生活関連道路の整備を行いました。このほか、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するための立地適正化計画を策定しました。

教育費では、越生町教育振興基本計画に基づき、児童・生徒の教育力向上や生涯学習を推進しました。

越生小学校と梅園小学校では、行事や校外学習を合同で実施し、交流を図りました。

今後も、活力ある越生を創るために魅力あるまちづくりと住民福祉の向上のための施策を進めてまいります。

会計別決算

	歳入	歳出	差引額
総 額	75億7,248万円	70億8,991万円	4億8,257万円
一般会計	41億9,819万円	38億6,905万円	3億2,914万円
特別会計	30億6,091万円	28億5,885万円	2億 206万円
公平委員会特別会計	29万円	20万円	9万円
農業集落排水事業特別会計	2,167万円	2,043万円	124万円
国民健康保険特別会計	18億1,685万円	16億8,322万円	1億3,363万円
介護保険事業特別会計	10億8,336万円	10億1,839万円	6,497万円
後期高齢者医療特別会計	1億3,874万円	1億3,661万円	213万円
水道事業会計	収益的収支 3億1,165万円 資本的収支 173万円	2億9,417万円 6,784万円	1,748万円 △6,611万円

水道事業会計の資本的収支の赤字6,612万円は、過年度損益勘定留保資金で補てんしました。

健全化判断比率等

平成29年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しました。

健全化判断比率と資金不足比率は、いずれの指標も早期(経営)健全化基準を下回り、健全性を示しています。

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	—	—	3.2	5.8
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率

特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業会計	—	水道事業会計	—
経営健全化基準	20.0	経営健全化基準	20.0

・実質赤字比率…一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

・連結実質赤字比率…全会計を対象とした実質赤字または資金不足額の標準財政規模に対する比率

・実質公債費比率…一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率

・将来負担比率…一般会計等が負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

・資金不足比率…各公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率

経常収支比率の推移



財政力指数の推移



しかし、他の指標である経常収支比率は88.1%で依然として高い数値にあり、財政の硬直化が懸念されます。

また、1,000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0.539と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。